

「森林とのふれあい2019」を開催しました

令和元年8月27日

“子ども達の夏休みの思い出に”と、8月の第一日曜日の年8月4日（日）、関西育種場において一般公開「森林とのふれあい2019」を開催しました（当场ホームページもご覧下さい）。

ここでは、人気のある①森の迷路、②木工クラフト、③リース作り、④しおり作りについて紹介します。

①森の迷路は、場内のケヤキ遺伝資源保存園を会場とし、午前・午後の2部で行っており、入賞者には「カブトムシ」や「クワガタムシ」をプレゼントしています。これを目指して多くの子ども達が挑戦してくれました。

②木工クラフトは、スギ・ヒノキや広葉樹の円板や角板、小切りにしたクリの枝などの材料を使って親子で自由工作を行うものです。猛暑の屋外とはいえ、テントの中で作品作りに熱中して取り組んでいただきました。

③リース作りは、予め円形に巻き上げて乾燥させたツルを土台に、各自でスギやマツの乾燥球果を用いて飾り付けのレイアウトを決めてから制作（接着作業）に取り組んでいただきました。

④しおり作りは、色付けした「ヒイラギモクセイ」の葉脈標本に華やかな飾り付けを施し、ラミネートにして完成というシンプルなものですが、毎年リピーターの方も多いコーナーです。

このイベントは、毎年8月の第一日曜日に開催しております。来年の開催にも、多くの親子の皆さんのご参加をお待ちしております。

当日の様子



①森の迷路



②木工クラフト



③リース作り



④しおり作り

(関西育種場)